

1. はじめに

今月でアメリカに来て 6 か月経過しました。留学生活も半分終わり、冬を感じさせるように雪が降るようになりました。今月は勉強面に焦点を当てたいと思います。

2. 勉学面

Speaking&Reading クラス

このクラスでは、Intermediate クラスの頃は自分に関連したこと、例えば自国の文化や専攻に関わるもの、を発表していたため、基本的に自分の持っている知識と少しのリサーチでプレゼンを行うことができていましたが、TED などを利用したリスニングからそのトピックに関連した内容についてグループワークを通してディスカッションやプレゼンをするといったことが多く、より大変さが増したように感じています。プレゼン以外に普通にリスニングだけということもありますが、8-10 分の内容を要約する必要があるため、四苦八苦しています。

Inquiry クラス

前回にもアクティブなクラスと言った通り、このクラスでは、クラス外でプレゼンしたりポスターセッションをしたりしています。あるプレゼンでは、自国の文化について各国でグループワークをする予定でしたが、クラスに日本人が自分だけだったので、韓国人と一緒に活動し、2か国の礼儀作法について発表しました。他のグループと違い比較することができたので、かなり実になったプレゼンだったと思います。その次は自由に選べたので仲の良い中国人に来てもらって東アジア同盟を組んでグループワークをし、今度は 3 か国での文化の同一性と違いについてプレゼンしました。結果的に、地理的には近いが昨今ある意味で遠い 2 か国の文化について、ネットの情報ではなくその国の人たちから聞くことが出来たことは自身の知見を広げる助けになりました。また、ポスターセッションでは、教員の方に頼まれポスターの作り方についてクラスメイトに説明することになり、KIT でのプロジェクトデザインなどの実践的な講義から学んだポスターやプレゼン方法などが大変役に立ち、学習したことが将来別の何かに役に立つということを実感できました。

Writing&Reading クラス Language Analysis クラス

これらのクラスでは、プレゼンがない代わりにより複雑な文についてエッセイや文を記述することをしています。複雑な文といっても Complex Sentence を直訳しただけなのですが、その Complex Sentence に分類される文法を学んでいます。日本で言う形容詞節や副詞節、名詞節を含んだ 1 文を Complex Sentence といい、いわゆる従属節がある文章のことだと思います。こちらの教え方は日本の学習のときならった文法よりも分かりやすいと私的に感じています。例えば、Adverb Clause 副詞節がある文章は主語一致で従属節側の主語を動詞+ing に伴い “省略 “できるから Reduced adverb clauses という括りで学習したのでイメージしやすかったのですが、いわゆる分詞構文と言われてると個人的にイメージが湧きづらいように思います。言葉で説明するのが難しいですが、英語を使えるようにすることと英語を勉強することは違うように感じています。日本語で英語を勉強していたころより、いろいろと腑に落ちることが多く、かつ、自身の語彙の範囲でアカデミック・複雑な文章を書けるようになってきているので、これまでの留学で一番伸びたスキルは Writing ではないかと思っています。

3. おわりに

半年が過ぎても英語を流暢に喋れるようになったわけではないのですが、逆に咄嗟に日本語が出てこなくなるという奇妙な現象が起き始めます。ときどき日本人の友人と話すときと某芸人のような日本語と英語交じりのしゃべり方になっていないか不安になりますが、英語話者としての下地ができてきたと思い、これからもポジティブに物事を捉えて留学生活を楽しみたいと思います。12 月という節目の月が終わるのに合わせて、次月までに、これまでの留学生生活を振り返りアメリカに住む人々、アメリカに来る留学生たちのアイデンティティについてまとめ、次月レポートにてそれらを述べたいと思います。